

地下水・湧水を介した陸—海のつながり：沿岸域における水産資源の持続的利用と地域社会

日時・場所：平成 28 年 3 月 26 日（土） 9：00 -17：30 東京海洋大学品川キャンパス
企画責任者：小路 淳（広大院生物圏）・杉本 亮・富永 修（福井県大海洋生資）・小林志保（京大院農）・
本田尚美・谷口真人（地球研）

9:00-09:10 開会挨拶・趣旨説明 小路 淳（広大院生物圏）

I 地下水・湧水の調査手法、歴史的展開

座長：杉本 亮（福井県大海洋生資）

9:10-09:35 1. 水文学と水産学の接点および世界の研究動向 谷口真人（地球研）
9:35-10:00 2. 陸域の地形および地下水流動に基づく海底湧水の評価 齋藤光代（岡大院環境生命）・
小野寺真一（広大院総科）・清水裕太（学振（近中四農研））
10:00-10:25 3. ラドン、トロンによる海底湧水環境評価 杉本 亮（福井県大海洋生資）
10:25-10:50 4. 陸域を中心とした水循環モデル 大西健夫（岐阜大応用生物）
10:50-11:10 休憩

II 地下水・海底湧水と水産資源のつながり

座長：富永 修（福井県大海洋生資）

11:10-11:35 1. 地下水・海底湧水による海域への栄養塩供給 本田尚美（地球研）
11:35-13:00 休憩（昼休み）
13:00-13:25 2. 低次生産と地下水・海底湧水 小林志保（京大院農）
13:25-13:50 3. ニ枚貝類の生物生産に対する地下水・海底湧水の寄与評価 富永 修（福井県大海洋生資）
13:50-14:15 4. 魚類の群集構造、生産、多様性への影響 小路 淳（広大院生物圏）
14:15-14:35 休憩

III 地域社会における地下水・湧水活用とコンフリクト

座長：小路 淳（広大院生物圏）

14:35-15:00 1. 東北における地下水・湧水を介した取り組み 王 智弘（地球研）
15:00-15:25 2. 御食国—小浜の地下水を活かしたまち作り 田原大輔（福井県大海洋生資）
15:25-15:50 3. 水利用とエネルギー利用のトレードオフ 山田 誠（地球研）
15:50-16:15 4. アジア太平洋地域の水—食料と安全保障 遠藤愛子（地球研）
16:15-16:35 休憩

IV 総合討論

座長：富永 修（福井県大海洋生資）

16:35-17:20 総合討論 杉本 亮（福井県大海洋生資）
小路 淳（広大院生物圏）
17:20-17:30 閉会挨拶 富永 修（福井県大海洋生資）

企画の趣旨

沿岸海域の生物生産に不可欠な栄養物質の多くは、水を介して陸域から海域へと供給される。地下水・湧水（地上および海底の湧水）は多量の栄養物質を含むため、生物生産への寄与という面から非常に高いポテンシャルを有する。一方、地下水・湧水は人間生活において水・熱エネルギー資源としても重要であるため、陸域における水利用と海域における食料（おもに水産資源）生産の間にコンフリクトが生じやすい。地球温暖化が進行するなか、水産資源生産やエネルギー資源

として重要な地下水・湧水の持続的利用を効果的に進めるには、水産学、水文学、生物学から地域社会の経済活動を含めた長期的・包括的な視座が不可欠である。当該分野の研究史、沿岸域における生物生産機構、地域社会における実践例と諸問題について総括し、水と水産資源をとりまく人間社会のあり方や、今後の学際的研究の可能性について議論する場を提供することを目的として、本シンポジウムを企画する。

